

第 2 5 研究発表

- 既存ネットワークを生かした高齢者支援・障がい者支援関係者
に対する新型コロナウイルス感染症に関する体系的研修の実践

田上 健吾

令和3年2月18日（土）開催 第51回滋賀県公衆衛生学会

既存ネットワークを生かした高齢者支援・障がい者支援関係者 に対する新型コロナウイルス感染症に関する体系的研修の実践

○ 田上健吾 嶋村清志 橋爪聖子（滋賀県湖北健康福祉事務所）
湖北地域・感染症対策ネットワーク

1. はじめに

湖北地域では、平成 22 年度から地域の各医療機関の感染管理認定看護師や感染症担当看護師、保健所職員で構成された湖北地域・感染症対策ネットワーク（以下、「湖北ネットワーク」とする。）を立ち上げ、地域の感染症対策に必要な事項の検討を行ってきた。その中で、感染症別マニュアルの策定や福祉系施設を対象にした研修会の開催を重ねてきた。

今年度は、湖北ネットワークの検討会議で、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）への対応が急務であると問題提起された。

このことを受け、保健所が他機関から依頼を受けた研修会や湖北ネットワークが実施した研修等の実践を報告する。

2. 研修内容と方法

研修①：新型コロナの法的対応についての講義

- ・日時：令和 2 年 7 月 13、14 日
対象：N 市地域包括ケアセンター職員等
- ・日時：令和 2 年 7 月 29、30 日
対象：障がい事業所職員等
- ・日時：令和 2 年 8 月 7 日
対象：訪問看護ステーション職員等

他機関から保健所に対して、新型コロナに対する研修会の要望が多数寄せられており、保健所が新型コロナにどのように対応しているのかを知ってもらう機会が必要だと感じ、その内容を盛り込んだ。

研修②：ゾーニングや感染防止策についての講義

- ・日時：令和 2 年 8 月 25 日 1 時間×3 回
定員 50 名/回
- ・対象：高齢および障がい 239 事業所（各事業所 1 名
のみの参加）

検討会議で研修内容を検討し、基本的な新型コロナの病態を押さえること、基本を押さえた上での感染予防策とすること、ゾーニングの基本までの内容にすることとした。

研修③：施設に出向き、湖北ネットワークの構成員がゾーニング、消毒等の指導

- ・日時：令和 2 年 8 月 19 日～9 月 15 日
1 回 1 時間程度
- ・対象数：21 事業所（定員 40 名以上の事業所）

研修②の講義内容を基本に、実際の施設に出向き、感染防止策や施設でのゾーニングを構成員と施設職員で現場を確認、意見交換を行いながら検討することが効果的であると考え、実施することとした。

3. 結果

研修①：各日時にそれぞれの関連職員が参加され、合計で 84 名の参加であった。内容として新型コロナの基礎知識と濃厚接触者の定義や健康観察期間についてなど保健所が行っている対応を中心に講義した。

研修②：参加申込者数は 134 名、参加者は 108 名、その他 3 名であった。参加事業所としては障がい 25%、高齢 40%、訪問看護 6%、その他 4%、未記入 25%であった。内訳として訪問 17%、通所 38%、入所 11%、相談 5%、その他 4%、未記入 25%であった。

研修後アンケートでは「新型コロナウイルスについて」よくわかったが 48 名、わかったが 59 名、未記入が 1 名。「感染対策について」とてもよかったが 49 名、よかったが 57 名、未記入が 1 名。自由記載には「コロナウイルスの感染がどうやって起こるか、ウイルスは自分では動かないとか、知らないことが知れてよかった。」や「身近な物でも対応できることが分かり、実践してみようと思う。」と良い評価の一方で、「もう少し時間があれば(研修時間)いいなあと感じた。」「もう少し詳しく」といった内容もあった。

研修③：申し込み施設は 10 施設で、そのうち高齢者施設は 9 か所、障がい者施設は 1 か所であった。

各施設の指導時に、医療機関と施設や事業所の職員がすでに顔なじみで、当日すぐに相談や指導に入っていくことができた。施設の実状に応じたゾーニングや感染対策について概ね 1.5～2 時間程度実施。施設からは「事前準備の大切さを知った」や「職員同士で共有することの重要性を改めて認識した」などの反応が得られた。

4. 考察

研修では新型コロナに現に対応している病院看護師が講義したことで、新型コロナに関する正しい知識の情報提供が行えた。その上で、現地において各施設の状況に合わせた内容を一緒に検討したことで、知識と技術につながりができ、感染症対策が根拠付けで具体的・明らかとなり、不安解消に寄与できたと考える。

また、施設や事業所、医療機関、保健所で同じ時間、情報共有できたことは、今後さらに気軽に相談しやすい関係性の継続にもつながったと考えられる。

5. おわりに

湖北ネットワークでは、病院看護師と保健所職員それぞれの役割を活かした活動を続けている。

今回、新型コロナという新しい事態において、今後も地域が求める要求に対し、いち早く即効性のある対応を行うこととしたい。